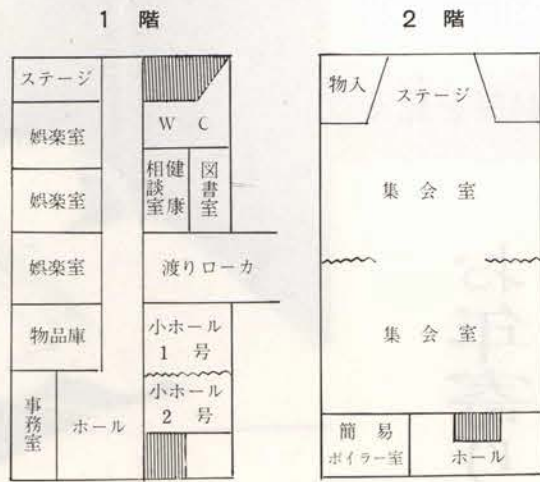


議会のうごき



8月の議会のうごき

- 8月4日 経済常任委員会（大村辰雄委員長）は、所管事項調査で市内視察。市の観光行政を進展させるため現地を視察した。
- 8月14日 第2回臨時市議会 工事請負契約の締結について市民センター内の公民館部門89万5千円、教育総合センター部門6,050万円の工事契約について審議、原案どおり可決。
- 8月24日 総務常任委員会（黒江貞之助委員長）では冬季オリンピックに使用された恵庭岳滑降コースの存置に関する陳情について審議。
- 8月29日 建設常任委員会（国崎広隆委員長）では、駅前商店街にアーケード設置に関する請願など4件、市道北8条線用（神社の坂）のロードヒーティングに関する陳情など2件を審議。
- 8月30日 民生常任委員会（八幡一栄委員長）では、幼児の遊園地設置に関する請願、悪臭、公害等に関する請願を審議。



老人福祉センター

老人福祉センター

身障機能訓練施設も併置

お年寄りの憩の場12月に完成

ほぼ埋め立てが完了した副港跡地に、また新しい市民のための福祉施設が誕生することになりました。札幌、滝川などに続いて全道で七番目に誕生する（老人福祉センター）がそれです。

この施設は、主として老人や身体障害者の方々の社会復帰などのために利用されることになりそうです。

建設される場所は、昨年完成した共同福祉センターの裏側に並んで建設されますが、ほぼ埋め立てが完了した副港跡地は、将来の留萌市内の中心地として発展が期待されており、利用する場合も中心地として交通の便も良く、十二月の完成が待たれる施設です。

身障訓練施設に整備の重点

この老人福祉センターは、完成されると共同福祉センターと渡り



建設される所と福祉センター

廊下でつながれ、両施設の設備機能を効果的に利用できるなど、福祉関係の総合センターとして利用されるものです。

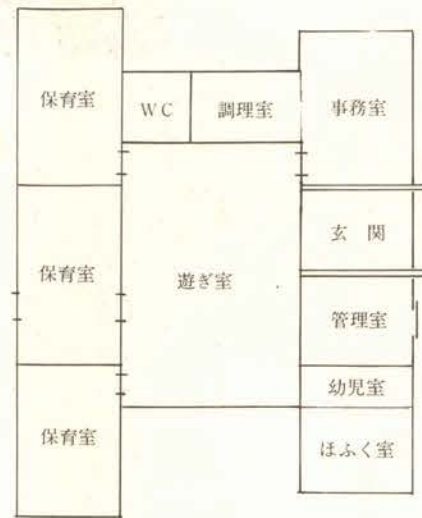
建物は鉄骨コンクリート二階建て。総面積約六千平方メートル、全館暖房の近代的な施設です。

一階には娯楽室三室（十八畳一室・十二畳二室）ホール二室（機能回復訓練室・機能講習室を併置）図書室、健康相談室、事務室などが配置されていますが、なんといっても機能回復施設（リハビリテーション）の整備により、身体障害者の方々の社会復帰の場として、全道でも珍しい施設といえます。

また、二階には約二千平方メートルのホール（集会室）が二室（アコリデオンドアで仕切られている）に、放送施設が整備されたステージなども配置されています。

老人の集いの場として、また身体障害者の方々の集いの場、社会復帰訓練の場として、完成が待たれます。

港北保育所



完成間近の港北保育所

もうすぐ完成 港北保育所

老朽が激しく、早くから改築が望まれていた港北保育所は、六月中旬から新築工事が進められてきましたが、いよいよ今月下旬（二十五日ごろ）には完成されることになりました。

前保育所の地に、総面積四百平方メートルの平屋ブロック建、八十人の幼児が収容できます。

内部には、百平方メートルの遊戯室をはじめ、五十一平方メートルの保育室三室、幼児室、ほふく室、事務室などが配置されています。

前保育所は、戦前に北海道造船の社員寮として建てられた建物で、老朽の上、木造でもあり不慮の事故、災害などが発生しやすい状態にあり、小さな子供たちを収容するには危険といわれていただけに子供をあずかる親としては、この新しい保育所の完成が待たれていました。

また、屋外遊戯場二百六十四平方メートルには、ブランコ、ジャングルジム、シーソーなどの遊戯施設が配置され、港北地区の幼児教育施設として完備されます。



ことしは公民館・教育総合センター部門

いよいよ市民センター着工へ

このうち、ことし建設されるのは、教育総合センターと中央公民館部門です。

■教育総合センター

このセンターは、総面積千六百平方メートル鉄骨コンクリート二階建てに、視聴覚教室、実験工作室、食堂、サークル室、研修室、ライブラリーなどが配置されており市内は勿論、管内を含めての教育センターとして活用されます。

■中央公民館

留萌市民の社会教育の場として一番利用されるのが公民館です。総面積千四百九十平方メートル、鉄骨コンクリート造りで、一階にはホール、郷土資料室、エントランスホール、二階には事務室、研修室二室、図書室などが配置されています。

完成はいずれも十二月下旬の予定です。



くわ入れを行なう原田市長